



荒川中だより

村上市立荒川中学校 平成26年度 第5号

平成26年12月24日発行 TEL 0254-62-3251

教育目標「めあてをもって 自分で考え ねばり強くやり抜こう」

今年度も、「確かな学力の向上」「豊かな心の育成」「健康な体づくり」の3つを柱にして、「生徒が生き生きと輝く学校」を目指していきます。今年の合い言葉「今よりも 一歩前へ」

校長 長谷川 浩志

2学期は成長と節目の学期

2学期も今日で終わりです。

2学期は一人一人にとってどんな学期だったでしょうか。9月、10月と体育祭や青雲祭の2大行事が続き、学期末には新しい生徒会役員の立ち会い演説会や選挙も行われました。中学校生活の中心的な学期であり、次の年度へのスタートとなる学期でもありました。

2学期の始業式に、今まで身につけた力を行事などで大いに発揮し、自分の成長を実感してもらいたいと話しました。自分の役割を意欲と工夫で精一杯やり遂げることができましたか。その中から自分を見つけ、成長することができましたか。大晦日の家族団らんの中でじっくりと今学期を、この一年を振り返ってみてください。

大晦日は家族とともに一年を振り返りましょう。

本来、大晦日の「みそか」とは「三十日」と書き、「月の30番目の日」という意味でした。それが転じて、実際の日付に関係なく、「31日」など「月の最終日」を意味するようになりました。昔、一日は夜から始まり朝に続くと考えられていたので、大晦日は既に新しい年の始まりでした。そのため大晦日は、新年の神様である年神様が来るのを寝ないで待つ日だったのです。この日に縁起物であるお頭付の魚を用いた食事やお雑煮などを家族揃って食べました。これを「年越し」「年取り」といいます。年取り魚などの言い方はここから来ています。

3年生も、この日ばかりは家族全員と顔を合わせてゆっくりと過ごしましょう。家族が揃ったら一年の無事を祝い、一年間の反省や抱負をお互いに語り合う家族団らんの場にしたいものです。

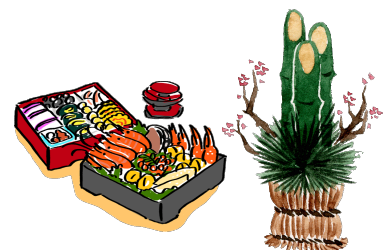
元旦はおせちを食べて新年の抱負を話しましょう。

おせち料理を知るのに欠かせない言葉は「節句」です。節句とは、季節の変わり目に、無病息災、豊作などを祈って邪気をお祓いする節目となる日を意味します。こうした節句は、1年で5つ（1月7日・3月3日・5月5日・7月7日・9月9日）あり、総称して五節句と呼びます。通常は、ぞろ目の日を指しますが、1月だけは1月1日の元日を別格として7日としています。

日本は四季がはっきりしているため、季節に合わせてそれまでの日常を振り返り、反省や後悔を新しい希望につなげていったのだと思っています。その中でも大晦日から元旦にかけては、一年間の締めくくりでもあり始まりでもあります。新しい年に向け決意を新たにしていきましょう。竹が強いのは節があるからです。我々も、反省と希望の節目が多ければ多いほど強くたくましい人生が送れるものと信じています。

生き生きと輝く新年とともに

始業式には、新しい年を決意とともに迎えた君たちと会えることを楽しみにしています。私も、学校が自分自身が、さらに成長できるよう精一杯がんばって新年を新しい気持ちで始めたいと思っています。



では良いお年をお迎えください

終業式で話した内容をまとめました。2学期、保護者の皆様にはご心配をおかけしたり、ご協力いただいたり、本当にありがとうございました。新しい年、3学期もよろしくお願いたします。

一生懸命取り組んだ合唱（青雲祭）

本年度から青雲祭を合唱と展示の二つに分け、合唱はコンクール形式に、展示は学期末保護者会で一斉展示を行うこととしました。展示時期をずらしたのは、美術や技術家庭科の時数が減り作品が間に合わない状況が続いていたためです。保護者の皆様にはご迷惑をかけた部分もあろうかとは思いますが、この日程を続けようと考えています。

合唱コンクールはいかがでしたでしょうか。歌は、誰もが幼いときから親しみ口ずさんできたものです。スポーツとは違い、気持ちがあれば声を出すことができます。それ故、合唱は「気持ち」の音だと思っています。「美しい歌声を響かそう」「学級で賞をとろう」などと同じ目標に心を一つにできたか。先頭に立ち頑張ってまとめようとしている人の熱意に応えようとしたか。互いに思いやり、自分の力を発揮することができたかなど。当日の合唱は、各学級の練習を含めた「気持ち」の集大成であり、学級の状態を表わしているものと考えています。

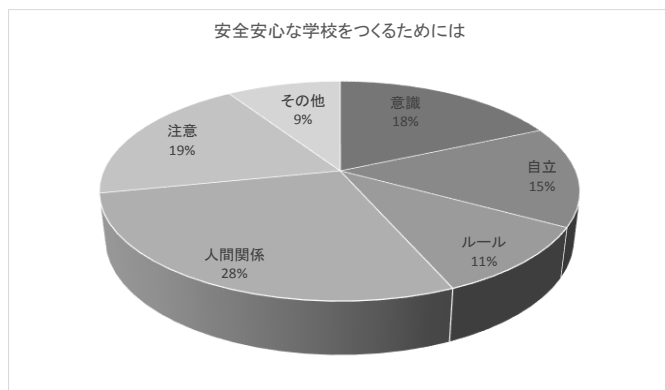
どの学級もよく頑張っていたと思います。そして、合唱コンクールの練習・本番をとおして、自立していくためのとても貴重な体験をしたと考えています。

様々な体験をとおして、考え悩み行動してみて、また新たな問題を抱えるといった経験は、今だからこそ自分の栄養として身に付き成長させていきます。



安全・安心な学校にするために何ができるか ～多くの生徒たちが意見を寄せてくれました～

1人1人が自分の可能性を十分に発揮できるためには、安全・安心な環境が必要です。全校朝会で学校で安全安心な環境をつくるためにどうしていけばよいのかを投げかけました。その投げかけに対して、多くの意見が寄せられました。大まかに、「意識する、自覚する」といった内容の意見「ルールを守る」「注意をする」「人間関係をよくしていく」「1人1人が自立する」といった意見に分けてみました。重なる部分などもあり正確な分類にはできませんでしたが、その割合は次のようになりました。



人間関係が最も多く、自覚する、自立するといった個人の成長に関する意見、そして注意するといった順になりました。その他とは、具体的な取組の提案などです。

みんなよく考えてくれていて、その考えを実行していけば安全・安心な学校ができ、1人1人が生き生きと輝けるというものでした。

寄せてくれた意見の一部を紹介します。ご家庭でも話題にしていいただければと思っています。

【意識・自覚】

- ・いつどこで、自分の身に何があるか分からないから、常に危険予知をするよう高く意識する
- ・1人1人がやってはいけないことなどの自覚を持つ
- ・学級委員として、皆の見本になれるように、自分から積極的に注意や心がけを行う
- ・何でも自分から積極的に行動することをみんなで心がけていく
- ・今まで好き嫌いで勉強していたので、好き嫌いで勉強せず、自分の将来のためにしっかりと勉強して学力をつけたい
- ・自分だけのためになることより、みんなのためになることを最優先に考える
- ・相手の嫌なところばかりを見ないで、良いところを見ようとする
- ・3年生として1・2年生の手本になるように服装や清掃などをしっかりと行う
- ・周りに流されず、校歌や挨拶を自分から進んで行う
- ・校歌を大きい声で歌うことや挨拶を大きい声ですること、少しは学校が変わると思う
- ・自信を持つために「プラスの独り言」を言う
- ・廊下を走らない。いじめをしない。いじめ防止に取り組む

【自立】

- ・当たり前のことを当たり前にする
- ・まず自分が周囲の安全安心を保つために危ないことをやめる。
- ・自分の都合だけで行動しない
- ・相手のことを考えて行動する
- ・先生がいるいないにかかわらず、一人一人がまじめに取り組むことから始める
- ・自分自身に自信を持って言うべきことをしっかり言っていく
- ・自分がやったことは正直に言う。いじめや破損などきちんと申し出るなど、誰かを不安にさせないようにする
- ・やらなくてはいけないことを流されずに自分の意思で行動する
- ・正しいことと正しくないことを判断し、正しくないことは注意する
- ・失敗したことで挙げ足をとったり、人を馬鹿にしたりする雰囲気には流されない
- ・自分自身を管理（コントロール）する（噂を回さない・人のことを笑わない・悪口を言わないなど）

【その他＝具体的な提案】

- ・生徒会が、もっと活動してみんな協力して自分の力を発揮できる場を設ける
- ・自分を押しさえられないと思ったときは、その場を離れるようにする。
- ・話し合いをして解決策を見つける
- ・「安心で安全な学校」とはどういうことかみんなで考える
- ・「相手の気持ちを考える」ことを学級でもう一度考える

【注意】

- ・人をからかったり、人を馬鹿にするような発言が出たら、見ているだけでなく注意したりやめさせたりする
- ・やられて嫌だったら、はっきり嫌と言って、誰かか嫌そうにしていたら注意すればいい
- ・見て見ぬふりをしないで、見かけたら注意する
- ・いじめ、物を壊す、授業中うるさいなどをやっている人がいたら注意する
- ・廊下で鬼ごっこなど危ない遊びをしている人がいたら注意できるようになる
- ・勇気を出して注意する
- ・相手の良いところを認めて、ダメなところはダメと注意する

【人間関係】

- ・人が聞いて嫌なことは言わない
- ・自分が行動するときには相手はどう思うかなと考えてみる
- ・日頃から人の方を向いて落ち着いて話を聞く
- ・自分やみんなのいいところを探し、自信と勇気をもつ
- ・一人一人がまわりを見て行動したり、相手の気持ちを考えて行動するようにする
- ・仲良くする。グループに固まるのではなく、誰とでも仲良くする優しい心をもつ
- ・悪口や差別など不安になることはしないで、みんながしやすい場所を作る
- ・周りの人の気持ちを考え、みんなに優しく接して、嫌なことがあっても許し合う
- ・もっと人とのコミュニケーションがとれるようにすればいい
- ・いろいろな人と仲良くする。そして互いに悪いことをしていたら注意し合える関係をつくる
- ・よい関係を築くために、誰にも偏見なく接する
- ・自分から挨拶し、挨拶されたらちゃんと返す
- ・一生懸命頑張っている人を馬鹿にするような行為をしない
- ・グループ活動を活発にする（積極的に参加する）
- ・悪口や差別をせず、挨拶やコミュニケーションで仲良くする
- ・何かされても言い出せない雰囲気があると思う。お互い注意しあえるような雰囲気をつくるために、まず勇気を出してみる。
- ・ルールを守るのは常識。自分は「普通」と思ってルールを守る。
- ・性格をさらけ出す人が少ない。もっといろいろな人と交流を持てばいいと思う。

新しい年に向かっての活動も

多くの見られました

面接練習<3学年総合>



将来必ず役に立つと
考え、入試で全員に必要
ではないのですが、生徒同
士、先生との集団面接な
ど、学年で面接練習を行
っています。

3年生進路講話<3学年PTA活動>



荒中を卒業した先輩3人
に、生徒たちからの質問
に答えてもらう形で、お
話を聞きました。進学
の先にあるものを教え
ていただきました。

保育体験<3年>



家庭科の授業で、保育
園に訪問させていただ
き、保育実習を行いました
。自分が小さな子の面
倒を見る、視点が変わ
る体験です。

2年生進路講演会<2学年PTA行事>



村上高校、荒川高校、
中条高校の普通科の学
習や進路、学校生活な
どを高校の先生をお招
きして聞くことができ
ました。

「学校保健」研究授業<2学年学活>



下越地区の多くの学
校の先生方が見つめる
中、よりよい睡眠につ
いて学習しました。お
互いがかかわりながら
取り組んでいました。

平成27年度新生徒会立ち会い演説会・投票

<新生徒会三役>



会 長 渡辺 名南
副会長 富樫 寛征
副会長 龍澤 希美
書記長 松本 力

話し方もよく、掲げた
公約も具体的で立派な演説
でした。来年度も生徒会
に期待大です。

職場体験<2学年総合>



地域のあの協力を得
て実施しました。この
体験が、自分の進路設
計、そしてその実現の
一つとして進学へとつ
ながります。

1 先生職場訪問<1学年総合>

来年度の職場体験に向
けて、働く人の苦労や
喜びを直接聞いてきま
した。

1月の予定

日	曜	主 な 予 定
1 (木)～6日(火)冬休み		
7	水	始業式、書き初め大会、確認テスト
8	木	学年朝会、3年テスト範囲発表 青い雲編集会議
9	金	Web学力向上テスト(国)、生徒会代議員会
10	土	
11	日	
12	月	
13	火	Web学力向上テスト(数)
14	水	Web学力向上テスト(英)学習Day、SC来校日
15	木	学年朝会
16	金	第2回漢字能力検定
17	土	
18	日	
19	月	生徒朝会
20	火	私立推薦入試
21	水	あらかわ学習Day、私立入試
22	木	学年朝会、3年テスト前学習会、私立入試
23	金	3年テスト前学習会、第3回英検、私立入試
24	土	
25	日	
26	月	3年第4回テスト1日目、諸経費引落日
27	火	3年第4回テスト2日目
28	水	第3回メイコンDay、あらかわ学習DAY 第2回郷育会議
29	木	学年朝会、1, 2年範囲発表 生徒会専門委員会、青い雲編集委員会
30	金	朝清掃、平成27年度新入生説明会
31	土	

いじめ見逃しゼロスクール集会



小学校6年年生の児
童と一緒にを行いました
。各校のいじめ見逃
しゼロの取組発表、い
じめをなくす取組につ
いて意見を出し合いま
した。